

## 令和 6 年 4 ～ 9 月分 モニタリング評価表

和光市総合児童センター

指定管理者： PFI和光市広沢株式会社

代表者氏名※

調査・評価者氏名

(※指定管理者のみ記載)

調査日時 令和 7 年 1 2 月 1 6 日

評価内容	検査項目	評点
①サービスの維持・向上に向けた取組が行われているか。	1. 利用者サービスの向上や利用促進のための取組みがされたか。	3.80
	2. 利用者ニーズに即した自主事業が実施されたか。	3.80
	3. 人権尊重に配慮したサービス提供、情報提供がなされたか。	3.80
	4. 利用者意見、要望が管理運営に反映されたか。	3.80
	5. 利用促進に向けた広報の取り組みに努めているか。	3.60
<b>【工夫・改善点等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>利用者数について、コロナ禍の終息だけでは説明できない増加であり、誘客や来館者の満足度を高める取組が行われていることが伺える。</li> <li>自主事業について、利用者ニーズに即した事業の実施に併せて、コミュニティの形成に寄与する取組に努められていると判断できる。</li> <li>不登校のこどもの居場所としての児童館活用について、行政分野横断的なこども施策であり、実証実験段階ではあるものの素晴らしい取組である。</li> <li>ホワイトボードによる要望受付や、ゲーム大会における中学生への意見聴取等、利用者のニーズを事業に反映するための努力がなされている。</li> </ul>		
②施設、設備及び備品の維持管理及び修繕が適切に行われているか。	1. 適正な施設の維持管理、運営が行われたか。	3.80
	2. 備品台帳により記録が適切に保管されているか。	3.80
	3. 市と指定管理者の備品が明確に区別されているか。	3.00
	4. 必要な修繕を適切に行い、市に報告しているか。	4.00
	5. 日常点検、自主点検が適正に行われているか。	4.00
<b>【工夫・改善点等】</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>社内モニタリングの結果を踏まえた予防修繕に努められており、施設、設備の維持管理が適切に行われている。</li> <li>7月31日の大雨被害について、市とも連携の上、迅速に原因究明等の必要な対応が取られており、災害対応を含めた維持管理の取組ができています。</li> </ul>		
③緊急時の対応、安全管理などの危機管理が適正に行われているか。	1. 事故、苦情に対する対応は適切であったか。	3.20
	2. 危機管理に関するマニュアルが整備され、定期的に訓練等を行っているか。	4.00
	3. 救急救命に必要なAED等の設置や有資格者を配置し	3.80

	ているか。	
	4. 利用者の安全利用のための施設・機器等の点検などが行われているか。	4.00
	5. 事故、災害等の緊急時の連絡体制が、確立されているか。	4.00
<b>【工夫・改善点等】</b> ・わびあタワーについて、一方通行化等新たな安全対策を取り入れ、安全管理に努められている。 ・1時間ごとに施設巡回を行っており、安全のための点検が適切になされている。		
④快適な職場環境を実現し、本施設の管理運営業務に従事する職員の安全と健康が確保されているか。	1. 適正な人員（人数、有資格者）が配置されたか。	3.80
	2. 労働法規の遵守や適正な勤務体制・勤怠管理システム等標準的な就業環境を維持しているか。	3.00
	3. 職員が良質な公共サービスを提供できるように休暇制度や福利厚生制度の改善に取り組んでいるか。	3.80
	4. 職員の資質向上と能力向上に向けたキャリアアップ可能な教育、研修体制が整備されているか。	4.00
	5. 職員が納得できる働きがいのある公正な人事考課制度が確立しているか。	4.00
<b>【工夫・改善点等】</b> ・職員同士の連携により連休の取得がなされているとのことで、引き続き休暇取得を促進し、職員の安全と健康が確保されていると判断できる。 ・プレーリーダー養成講座の受講等、社内ルールとして学ぶべきもの以上に、和光市総合児童センターを運営するにあたっての独自の研鑽が行われている。 ・新人研修を若手に委ねる取組について、多角的な観点での人材育成として評価できる。		
⑤指定管理者としての努力がなされているか。	1. 指定管理事業及び自主事業は当初計画と整合しているか。	3.40
	2. 収入状況は当初計画と整合しているか。	3.00
	3. 経理事務は適正に処理されているか。	3.40
	4. 適性なサービス品質の性能が発揮されているか。	3.60
	5. 地元の企業市民として地域貢献活動に取り組んでいるか。	4.00
<b>【工夫・改善点等】</b> ・広沢複合施設の基本理念を理解した地域での連携強化に努められ、地域貢献活動に取り組まれている。 ・地区社会福祉協議会の取組について、中心的な役割となるほど踏み込んでいることや、コミュニティスクールの運営委員にも選定される等、一事業者にとどまらず、エリアの中核的存在になっていることは評価できる。 ・お手伝いをしたいという声を拾い、キッズサポーターとして受入れをしたことは、子どもたちにとって大切な経験になっている。		

<b>92.4点</b> (評点の合計)
<b>結果</b> $\frac{\quad}{\quad} \times 100 = 92.4\%$ (評点の割合)
<b>100点</b> (最高点の合計)

※ 施設の性格や設置目的等により、適切な評価内容となるよう適宜変更すること。

**評点の基準例**

評点の基本的な考え方	点数
協定書等を遵守し、その水準よりも優れた管理内容である。(優良)	4点
協定書等を遵守し、その水準に概ね沿った管理内容である。(良好)	3点
協定書等を遵守しているが、管理内容の一部に課題がある。(課題含)	2点
協定書等を遵守しておらず、改善の必要な管理内容である。(要改善)	1点